

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆さま方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

開咬を伴う骨格性反対咬合患者の下顎骨骨形態の特徴に関する臨床研究
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2004年12月～2019年1月に当科にて初診時検査を受けられた方 研究期間：2019年2月～2022年3月</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>研究背景：外科的矯正治療を行う骨格性下顎前突症例患者において術前矯正を行う際、上下顎前歯の歯軸を適正化させるため、下顎前歯の唇側傾斜が必要となります。しかし、骨格性下顎前突症患者は、下顎骨の骨形態上、歯の移動様式に対する治療の制約を受けることが少なくありません。そこで、本研究は骨格性下顎前突症患者の中で開咬を伴う症例、開咬伴わない症例で比較し、下顎骨骨形態に関連があるか分析、解明することを目的とします。</p> <p>調査対象期間：2004年12月～2019年1月</p> <p>研究方法：骨格性下顎前突症患者の中で開咬を伴う症例、開咬伴わない症例で比較し、コンビームCTを用いて下顎骨の symphysis 及び下顎臼歯部歯槽骨幅径について距離を計測、分析、解明します。</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>以下の患者資料を使用。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 頭部X線規格写真 2. コーンビームCT情報 3. 口腔内写真 4. 顔貌写真 5. 平行模型
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご</p>

了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院（歯学部歯科矯正学講座） 氏名：中納 治久

住所：145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151

研究責任者：所属：昭和大学歯科病院（歯学部歯科矯正学講座） 氏名：中納 治久